

令和7年度第4回恵庭総合計画審議会議事録（要旨）

日時	令和7年10月21日（火）14：00～14：40
場所	恵庭市民会館 3階 中ホール
出席者	小磯 修二（北海道文教大学 地域創造研究センター長）
	土谷 秀樹（恵庭商工会議所）
	後藤 美江（恵庭市地域女性連絡会）
	武井 和磨（恵庭青年会議所）
	落合 信也（恵庭市商店会連合会）
	小田 進一（恵庭市私立保育連合会）
	大塚ひろみ（恵庭市文化協会）
	船田 清（恵庭市社会福祉協議会）
	茶園 利紀（恵庭市スポーツ協会）
	姉崎 敏一（道央農業協同組合）
	島田 圭一（恵庭観光協会）
	杉本 貢（市民ワークショップ委員）
	小林 祐一（公募）
	泉谷 清（公募）
	熊野 稔（公募）
議事	(1) 第6期恵庭市総合計画基本構想（案）について (2) 答申について

流れ	内容
開会	●企画振興部次長 開会のあいさつ
副市長 あいさつ	●副市長 本審議会は、今回が最終回となります。これまで複数回にわたり、活発にご議論いただきまして、深く感謝申し上げます。委員の皆様には、それぞれのお立場や経験から、本市の将来像を描くうえで大変貴重なご意見をいただきました。 また、先日をもって、総合計画基本構想（案）に対するパブリックコメントの受付が終了いたしました。市民の皆様からお寄せいただいた中に、貴重なご意見がありましたので、本日はそうしたご意見の中から一部を反

副市長 あいさつ	<p>映した資料を配布しております。</p> <p>本日は、これまでの議論の総括として、計画案の最終的な方向性を整理する重要な機会となります。どうぞ最後まで、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。</p> <p>結びに、今年1月から長期にわたり本審議会にご協力いただきました小磯会長をはじめ、委員の皆様に改めて厚く御礼申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。</p>
確認	<p>●企画振興部次長</p> <p>欠席者について説明・出席人数の確認</p>
	<p>●会長</p> <p>副市長の方からのご挨拶にもありましたが、今年1月に本審議会がスタートし、限られた時間ではありましたが、専門部会も含め、かなり活発な議論が進められました。前回は7月に本審議会を開催し、パブリックコメントや議会等の審議もありました。本日の審議会が最終ということで、答申に向けての最終確認をいただきたいと思います。</p>
審議事項	<p>●事務局</p> <p>議題</p> <p>「(1) 第6期恵庭市総合計画基本構想（案）について」説明</p> <p>●会長</p> <p>7月以降のパブリックコメントなどを含めた経過について説明がありました。もしご意見がなければ、これで答申を行うということでご了解いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(委員は全員一致で事務局案を了承、承認。)</p> <p>●事務局</p> <p>議題</p> <p>「(2) 答申について」 説明</p> <p>●会長</p> <p>私の方から、皆様のこれまでのご意見、審議の経過等を踏まえて、市長に答申させていただきたいと思います。</p> <p>それでは、残された時間が少しございますので、今後10年にわたる恵庭市の総合計画基本構想をこの内容で進めていくにあたり、特に大事だというところ、ここはぜひおし進めてほしいというところなど、それぞれの感想を含め、ご発言いただければと思います。</p>
意見交換	<p>●A委員</p> <p>全体的にまとまった計画になったと思います。私は、都市計画審議会や</p>

意見交換	<p>立地適正化計画をお手伝いしていますが、今後は恵庭市もまちなかの整備が非常に大事になってくると思います。恵庭市の強みとして、公民連携や市民中心としたまちづくりが非常に充実・進展されていると思うので、そのようないいところを活かし、子どもや学生、市民の居場所づくりを行うことが大事だと思います。</p>
<p>●B委員</p> <p>皆さんの意見がまとまり、本当にいいものが出来上がったと思います。今後、この計画をどのように進めていくのかということが重要だと思います。また、3年ごとに見直していくということですが、その際は市民をぜひ入れていただきたいと思います。市民が集まっていろいろ意見を言いますが、その後のフォローがないと思います。フォローをしないと、せっかく作ったものが現実的には実施されない、市民の声は活かされないと思いますので、ぜひよろしくお願ひします。</p> <p>審議会の最初の方でも話しましたが、北海道開発局が作成した恵庭市の産業連関表を参考に、引き続き行政と市民が協働でまちづくりをやっていければいいと思いました。</p>	<p>●C委員</p> <p>第6期恵庭市総合計画ということで、今後10年にわたる流れの中で、今、こういう事業をやっているということを、市民にわかりやすく伝えていくことが重要だと思います。例えば市役所のホームページでは、終わつた事業がわかるように、消し込み表示にしてはどうかと思います。</p>
<p>●D委員</p> <p>計画の作成過程で、公募委員によるワークショップ4回に参加しました。そこでは、若い方、女性、男性、外国人など様々な方から非常に活発な、いい意見が出て、それが計画に反映されて良かったと感じています。</p> <p>この計画を恵庭市民7万人にどのように周知するのかというところで、ホームページや紙媒体、いろいろな方法があると思いますが、高齢の方もいるので、わかりやすい方法でお願いしたいと思います。</p> <p>また、計画を作つて終わりではなく、この政策を推進していく上では、お金が伴います。私は、いわゆる箱物、ハード面だけではなく、ソフト、人に関わるような予算に重点を置いてほしいです。将来都市像の「文化創造都市」は、非常にいい言葉だと思います。教育、芸術、広い意味では体育も文化に含むと感じ、文化は非常に幅広いと思います。これらは、ハード面がベースになると思いますが、やっていくのは人だと思うので、その人たちが気持ちよくできるような、そういうことをメインに、重点化して執行してほしいと思います。</p>	

意見交換	<p>● E 委員</p> <p>計画に記載されていることは、意味が難しい部分もあるので、わかりやすいように市民の皆さんに伝えていくことが重要だと思います。そして、皆さんに「恵庭が大好き」と言える方向にもっていってほしいと思います。</p> <p>ファイターズ2軍について、どうなるかわかりませんが、「未来をひらく」、「つながり広がる」ということで今後期待したいと思います。</p>
	<p>● F 委員</p> <p>全体的に、いい計画が仕上がったと思います。</p> <p>恵庭市では、農業者が高齢化により減ってきてています。新規就業者を集めやすいまちづくりを行い、新鮮な野菜を恵庭市の皆様に食べていただくために、恵庭市と話をしながらとり進めていきたいと思います。</p>
	<p>● G 委員</p> <p>主にスポーツに関して意見を述べてきました。子どもの少子化と、それを支える指導者の高齢化が進んでいます。恵庭市は競技団体が 24 ありますが、競技者も減り、子どもたちがいないと指導者もだんだん少なくなります。</p> <p>いろいろな団体から、生涯続けられる生涯スポーツについて、果たしてこれができるかという意見が出ていました。特に、子どもたちはスポーツする場所、施設がないということで意見が来ていました。確かに、最近は公園でボール遊びをしていると苦情が来ることがあるようです。遊ぶ場所、スポーツをする場所がないという問題は、永遠のテーマのように感じます。</p>
	<p>● H 委員</p> <p>前回、第5期計画の審議会に引き続き、今回も参加させていただきました。専門部会で分かれて細かい議論をしたことが、自分にとって意識を高めるいい場所になりました。それによって市の計画されていることへの関心度、普段からの意識が変わったように感じています。</p> <p>パブリックコメントの意見募集は、もっとたくさんの市民意見が出てくるようになればいいと思いました。</p>
	<p>● I 委員</p> <p>商店会を通じて、花の街並みや景観づくりに携わってきました。子ども、中学生、市民が参加して作っていくまちは珍しいと思います。それがずっと続いてきた文化だと思い、これからも続していくようなまちづくりになればいいと思い、参加させていただきました。</p> <p>● J 委員</p> <p>こういった審議会に参加し、とてもいい経験をさせていただきました。</p>

意見交換	<p>最初の審議会のときにもお話ししましたが、この審議会の場にもっと若い方の割合が増えて、ユーモアのある新しい意見が交わっていくと、もっと活気あるまちになるのではないかと思います。</p>
	<p>●K委員</p> <p>子育て・教育について、意見を述べさせていただきました。乳幼児の保育施設は、これまで恵庭市民のものでしたが、広域に渡ってニーズを果たすということが求められるようになってきています。これを考えてみれば、高校も大学も同じだと思います。市民だけのためではなく、札幌から通っている大学生はたくさんいますよね。そういった意味では、この計画の中に恵庭市というのと同時に、広域という視点があつてもよかったです。</p>
	<p>●L委員</p> <p>今、社会教育と文化、生涯学習を一本化というような形でつなげようとしています。身体的、社会的、精神的な状態を満たすということは、みんなの幸せを感じる状態で、幸せを感じる状態はみんなに感謝されることだと思います。社会とのつながりを大事にして、いろいろなものを活発にやっていければいいなと思います。</p> <p>総合計画は10年の計画ですが、途中の見直しで、先ほどJ委員のお話にあったように、若い方、例えば高校生、大学生が将来的にどのようなまちづくりをしていきたいか、意見を聞くのもいいと思いました。</p>
	<p>●M委員</p> <p>恵庭市を含め、全国的に超高齢社会を迎えており、社会福祉協議会では、どのように施策を進めていくか恵庭市と話し合っています。今回、10年間の総合計画ができましたが、恵庭市は地域福祉計画、そして社会福祉協議会ではそれに合わせた地域福祉実践計画の策定を進めている状況です。</p> <p>「福祉」という言葉については、いろいろな意味合いがあると思いますが、私は、福祉の「福」は幸福の福、福祉の「祉」は心の豊かさを表していると思っています。</p> <p>今後、恵庭市民の幸せと心の豊かさを求めるながら進めていき、総合計画の10年間を楽しみに見てていきたいと思っています。</p>
	<p>●副会長</p> <p>基本構想はこのような形になりましたが、これは行政だけが進めるのではなく、行政と一緒にやって私達市民も構想に向かって努力しないといけないと思うのですが、それを恵庭市民皆さんがそう思えるのかどうかは、なかなか難しいところだと思います。ただ、市民の皆さんに理解してもら</p>

意見交換	<p>う、一緒にやっていこうという機運をつくることは必要だと思います。都市計画マスタープランでは、新市街地構想などもあります。恵庭は大きく発展しようとしていて、その先を本当に楽しみに思います。そのようなことを含め、市民の皆さんと一緒に共有しながら進めていくことが必要だと感じました。</p>
	<p>●会長</p> <p>皆さんから、これから総合計画の進め方、審議に当たっての印象、感想をお聞きしました。今日のご意見、ご発言については、市長に答申する際にお伝えし、しっかりと受け止めていただくようお願いします。</p> <p>皆さんからは、恵庭らしい計画というご発言がありました。特に、市民と一緒に、という部分。恵庭の特色は、市民の皆さんが積極的にまちづくりに参加していくというところだと思います。この計画も、ただ行政が作ってこういう計画書です、というだけではなく、どうやって市民の方々と計画を推進していくのか、参画していただくのか。そういったところを意識しながら、進めていただきたいということが、皆さん全体の声と受け止めました。</p> <p>市民の方もそうですが、行政の中でも、ただ単に企画部門が作ったその政策の成果ということではなく、市役所全体で各課のいろいろな施策の基本となるのが、この総合計画基本構想の考え方、理念だというところをしっかりと共有することが、強い行政に繋がっていくと思います。市役所の中で、各施策部門にたいして、基本構想の考え方、理念をしっかりと理解していただけるよう取り組みをお願いします。</p> <p>今回の基本構想の「文化創造都市」というコンセプトは、私が活動している地域創造研究センターで、これから恵庭が目指すべき方向ということで提案させていただいているものです。それを総合計画にも記載されたということで、とても感謝しております。文化創造都市の意義の一つは、足元にある資源の価値をしっかりと再認識し、生かしていくことです。それぞれの分野でどういう取り組みができるのか、この総合計画の基本構想の理念に沿って、それぞれの立場でできるところをぜひ進めていってほしいと思います。</p>
閉会	<p>●企画振興部次長</p> <p>閉会のあいさつ</p>